



たんぽぽ通信 No.7



令和6年11月12日
福岡県立柳河特別支援学校



11月の活動「秋の木の実で遊ぼう（制作遊び）」

11月の活動は、制作遊びです。秋の自然物(どんぐりやもつぼっくり等)を見たり触ったりして遊びます。まずは、秋の季節の手遊びやリトミックをして秋の季節を感じて遊びます。その後、秋の木の实を使ったマラカスや光るスノードームを作ります。お友達と一緒にお話しながら作ったり、容器の穴の位置を確かめて木の实を入れたりして作りましょう。最後にみんなでマラカスやスノードームで遊びましょう。

制作遊びと触ること

幼児にとって制作遊びとは、何かを表現したり、豊かな感性を育てたりする大切な遊びです。視覚障がいのある幼児にとっては、それに加えて、手指の機能を向上させることができる良い機会でもあるのです。

視覚障がいのある幼児におすすめの触って遊べる素材には、砂や泥、紙、粘土、空き箱のような立体物などがあります。これらに慣れてきたら、はさみやセロハンテープなどの用具を使っての制作遊びも楽しめるようになります。

今回は、この中から、「木の实」を使った制作遊びをしたいと思います。お母さん達と一緒に季節の素材を使って飾りや楽器を作ってみましょう。

今回のたんぽぽ教室での工夫

- ★材料を種類ごとに分けて箱に入れたり、用具の置き場所を固定したりする。(自分で作業できるような工夫)
- ★色の鮮やかな材料や、感触の違いのある素材を準備する。(見たり触ったりを楽しめる工夫)



マラカス
作り



スノードーム
作り



紙プール
遊び

12月のたんぽぽ教室のお知らせ

日時:令和6年12月10日(火)14:30~15:30 ※時間がいつもと違います
場所:柳河特別支援学校 プレイルーム(予定)

申込み:電話:0944-73-2263 FAX:0944-73-6291

メール:info@yana-ss.fku.ed.jp※いずれかの方法でご連絡ください。

締め切りは12月3日(火)です。 担当:吉松